

# 「高等科學日文」(2023 年度第二學期)

## — 文法練習問題 06 —

きのしただいすけ

2024 年 04 月 10 日

# 問題 06-01

- ▶ 「…動詞 + ながら…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「不完全性定理に関する数学者たちの物語を追いながら、不完全性定理が意味するものにやさしくせまっていこう。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間的有效に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 今、何をしたらよいのか、わかりますか？

- ▶ 「…ながら…」という言葉の意味を知っていますか？
- ▶ 知っている場合
  - ▶ 作文を始めてください。
- ▶ 知らない場合
  - ▶ 辞書を使って「ながら」の意味を調べてください。
  - ▶ 「ながら」の意味をノートに記録してください。
  - ▶ 辞書を使って「ながら」の用例を調べてください。
  - ▶ 「ながら」の用例をノートに記録してください。
  - ▶ 作文を始めてください。
- ▶ 作文が完成したら、ノートに書き出してみてください。
- ▶ 完成した作文を発表してください。

# 辞書の例

The screenshot shows the goo Dictionary homepage. At the top, there's a search bar with placeholder text "調べたい言葉を入力" (Enter the word you want to search) and a "検索" (Search) button. Below the search bar, there's a navigation menu with tabs for "辞書" (Dictionary), "国語" (Kotoba - Japanese Language), "英和・和英" (Eigo-Wa - English-Japanese / Wa-Eigo), "類語" (Reigo - Colloquial language), "四字熟語" (Shicho-shokugo - Four-character idioms), "漢字" (Kanji), "人名" (Renmei - Personal names), "専門用語" (Zenmon-yougo - Professional terms), "豆知識" (Dobutsu-ritsuishi - Trivia), and "アプリ" (App). A banner at the top promotes the "SEO・コンテンツマーケティング支援ツール" (SEO Content Marketing Support Tool) with a "トピッククラスター活用!" (Topic Cluster Utilization!) badge and a "Sienca インサイト" (Sienca Insight) logo. On the right side of the page, there's a large image of a bowl of rice with the text "新米特集" (New Rice Special Feature) overlaid. The main content area features a section titled "国語辞書" (Kotoba Shōjisho) with a sub-section for "デジタル大辞泉" (Digital Great Dictionary). Below this, there's a detailed description of the dictionary's features and a note about its regular updates. Another banner for the SEO tool is located at the bottom of the page.

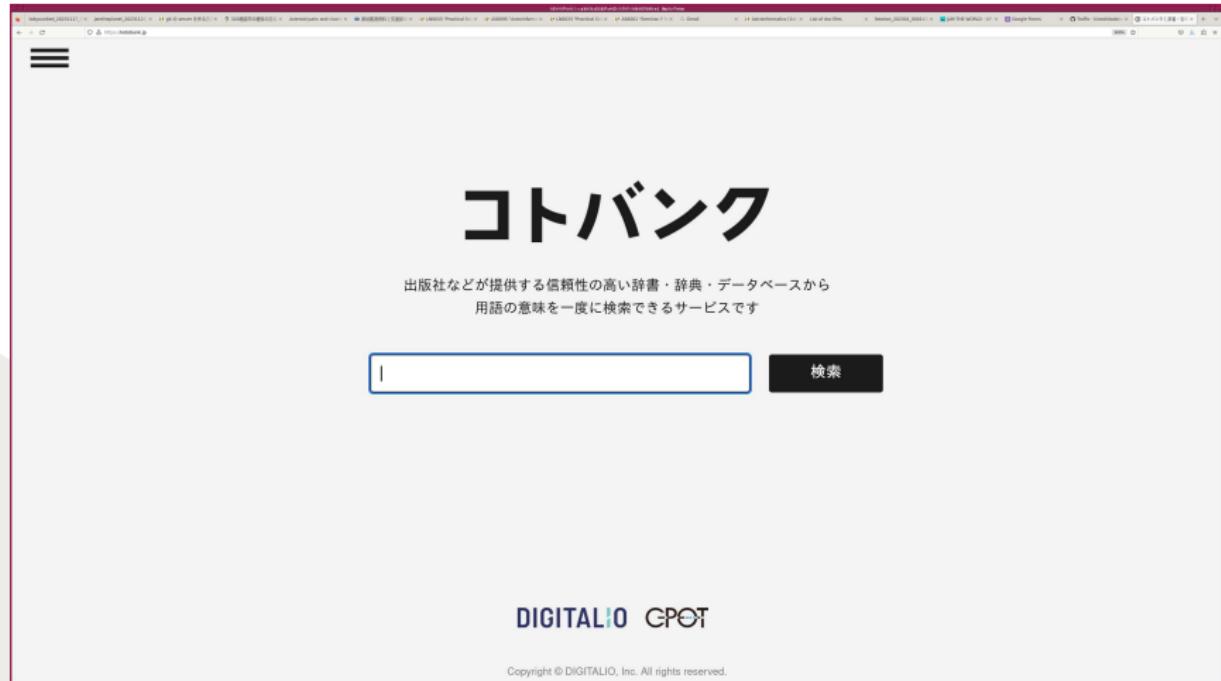
<https://dictionary.goo.ne.jp/jn/>

# 辞書の例



<https://www.weblio.jp/>

# 辞書の例



[https://kotobank.jp/](https://kotobank.jp)

# 作文をしてみましたか？

- ▶ この時間に作文をしないと、時間がもったいないです。
- ▶ 大学生の四年間の時間はとても貴重です。
- ▶ 何もしなかった人は、停修することを考えてみる必要があるでしょう。

## 問題 06-02

- ▶ 「…のみならず…も…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「不完全性定理は、数学のみならず、人間が構築するいかなる自然数論を含むシステムも“不完全”だと示しているのだ。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-03

- ▶ 「…まずは…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「不完全性定理について理解するために、まずは数学や論理学における『定理』などの用語について、その意味を確認しておきたい。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

## 問題 06-04

- ▶ 「…だろう…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「直角三角形の辺の長さに関する『三平方の定理』などはだれもが聞いたことがあるだろう。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-05

- ▶ 「…しっかり…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「それは議論の前提となる約束事のもとで厳密に証明が行われているからだ。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-06

- ▶ 「…にもかかわらず…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「そして、『決定不可能な命題』とは、その公理系の内部で真であるにもかかわらず証明不可能な命題、つまり、たとえ正しいとしても証明できない命題のことである。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-07

- ▶ 「…たとえ…としても…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「そして、『決定不可能な命題』とは、その公理系の内部で真であるにもかかわらず証明不可能な命題、つまり、たとえ正しいとしても証明できない命題のことである。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-08

- ▶ 「…どんなに…ても / でも…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「論理学と科学哲学を専門とする國學院大學の高橋昌一郎教授は、『不完全性定理』はたとえて言うと、どんなに完全な法律体系をつくろうとしても、その法ではとらえられない“抜け穴”が必ず存在することを証明してしまったようなものです」と話す。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-09

- ▶ 「…必ず…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「論理学と科学哲学を専門とする國學院大學の高橋昌一郎教授は、『不完全性定理』はたとえて言うと、どんなに完全な法律体系をつくろうとしても、その法ではとらえられない“抜け穴”が必ず存在することを証明してしまったようなものです」と話す。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-10

- ▶ 「…動詞+てしまう…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「論理学と科学哲学を専門とする國學院大學の高橋昌一郎教授は、『不完全性定理』はたとえて言うと、どんなに完全な法律体系をつくろうとしても、その法ではとらえられない“抜け穴”が必ず存在することを証明してしまったようなものです」と話す。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-11

- ▶ 「…再び…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「ところが犯罪者はふたたび法の“抜け穴”をみつけては、新たな法律でも裁くことができない犯罪行為をくりかえす。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-12

- ▶ 「…はず…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「どんなに証明がむずかしい数学の命題も、数学が発展して新たな定理を発見していくれば、それらを使っていつか真偽を決定できるはずだと、多くの数学者たちは考えていた。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-13

- ▶ 「…動詞+ている…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「ある島には二種類の住民が暮らしている。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

## 問題 06-14

- ▶ 「…しか…動詞 + ない…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「ナイトは真実しか言わない。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-15

- ▶ 「…あり得ない…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「もしこの住民がナイトであれば真実を言っているはずなので、発言により、うそつきということになる。しかし、うそつきのナイトはあり得ない。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-16

- ▶ 「…だけ…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「ナイトは真実だけを発言し、ネイプはうそだけを発言するというルールにしたがっている限り、ナイトとネイプは何でも自由に発言できる。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-17

- ▶ 「…絶対に…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「ところが『私はうそつきだ』のように、絶対に発言できない文が存在するのだ。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-18

- ▶ 「…こそ…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「これらの発言できない文こそ、公理系における『決定不可能な命題』のイメージなのである。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-19

- ▶ 「…のみ…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「名称からわかるように、ナイトクラブにはナイトのみ、ネイブクラブにはネイブのみが加入できる。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-20

- ▶ 「…既に…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「クラブには加入条件がある。それはすでにクラブに入っている会員によって、未加入の住民がナイトかネイブのどちらかであると証明されることである。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-21

- ▶ 「…わけではない…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「ただし、ゲーデルはこういったたとえ話をしたわけではありません。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-22

- ▶ 「…非常に…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「実際には数学の公理系を『ゲーデル数』という自然数に変換してコード化したうえで、素数の性質や論理学の技術を使って、非常に巧妙に証明したのです。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-23

- ▶ 「…未だに…動詞 / 助動詞 + ない…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「数学の世界には、古くから知られているものの、いまだに証明できていない命題がいくつも存在する。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-24

- ▶ 「…いずれも…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「前者は数学者クリスティアン・ゴールドバッハが 1742 年に提案したものだ。後者は古代ギリシャ時代から知られているものである。いずれも未解決だ。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-25

- ▶ 「…果てしない…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「逆にいえば、自然数の宇宙はそれだけ果てしなく広大なのです。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-26

- ▶ 「…一挙に…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「これは、当時『集合論』という数学の分野で発見されたパラドックスを一挙に解決しようとしたものだ。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-27

- ▶ 「…初めて…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「ノイマンは、数学の『ゲーム理論』を考案したほか、実用的なコンピューターを開発し、天気予報をはじめて成功させたことなどで知られている。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-28

- ▶ 「…一度も…ない…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「チューリングは、1936年から1938年にかけてアメリカのプリンストン大学大学院に留学している。そのすぐそばにはゲーデルが勤務するプリンストン高等研究所があった。にもかかわらず、チューリングは一度もゲーデルに会いに行つたという記録がない。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-29

- ▶ 「…に対して…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「チューリング自身は『機械は考えることができる』と信じており、機械は考えることができないという九種類の反対意見に対して、論文で一つ一つていねいに反論するなどしている。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-30

- ▶ 「…僅か…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「死亡時の体重はわずか 30 キログラムほどしかなかったと  
いう。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、  
わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時  
間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りが  
あれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-31

- ▶ 「…に過ぎない…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「不完全性定理が数ある数学の定理の一つにすぎず、まるで気にする必要はないという見方も過小評価だと思います。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

# 問題 06-32

- ▶ 「…目指す…」を使って文を作りなさい。
  - ▶ 例: 「人間がどんなに完璧をめざして公理系をつくっても、その公理系が自然数論を含む限り、そこには限界があり、すべての真理を汲み尽くせないという衝撃的な事実を示したわけですから。」
- ▶ 注意事項
  - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
  - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
  - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
  - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

## 問題 06-33

► 動詞「追う」を活用させなさい。

- 語幹: \_\_\_\_\_
- 未然形: \_\_\_\_\_ ない / \_\_\_\_\_ う
- 連用形: \_\_\_\_\_ ます
- 終止形: \_\_\_\_\_
- 連体形: \_\_\_\_\_ とき
- 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
- 命令形: \_\_\_\_\_

## 問題 06-34

► 動詞「行く」を活用させなさい。

- 語幹: \_\_\_\_\_
- 未然形: \_\_\_\_\_ ない / \_\_\_\_\_ う
- 連用形: \_\_\_\_\_ ます
- 終止形: \_\_\_\_\_
- 連体形: \_\_\_\_\_ とき
- 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
- 命令形: \_\_\_\_\_

## 問題 06-35

► 動詞「裁く」を活用させなさい。

- 語幹: \_\_\_\_\_
- 未然形: \_\_\_\_\_ ない / \_\_\_\_\_ う
- 連用形: \_\_\_\_\_ ます
- 終止形: \_\_\_\_\_
- 連体形: \_\_\_\_\_ とき
- 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
- 命令形: \_\_\_\_\_

## 問題 06-36

► 動詞「作る」を活用させなさい。

- 語幹: \_\_\_\_\_
- 未然形: \_\_\_\_\_ ない / \_\_\_\_\_ う
- 連用形: \_\_\_\_\_ ます
- 終止形: \_\_\_\_\_
- 連体形: \_\_\_\_\_ とき
- 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
- 命令形: \_\_\_\_\_

## 問題 06-37

► 動詞「考える」を活用させなさい。

- 語幹: \_\_\_\_\_
- 未然形: \_\_\_\_\_ ない / \_\_\_\_\_ う
- 連用形: \_\_\_\_\_ ます
- 終止形: \_\_\_\_\_
- 連体形: \_\_\_\_\_ とき
- 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
- 命令形: \_\_\_\_\_

## 問題 06-38

► 動詞「感じる」を活用させなさい。

- 語幹: \_\_\_\_\_
- 未然形: \_\_\_\_\_ ない / \_\_\_\_\_ う
- 連用形: \_\_\_\_\_ ます
- 終止形: \_\_\_\_\_
- 連体形: \_\_\_\_\_ とき
- 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
- 命令形: \_\_\_\_\_

## 問題 06-39

► 動詞「生じる」を活用させなさい。

- 語幹: \_\_\_\_\_
- 未然形: \_\_\_\_\_ ない / \_\_\_\_\_ う
- 連用形: \_\_\_\_\_ ます
- 終止形: \_\_\_\_\_
- 連体形: \_\_\_\_\_ とき
- 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
- 命令形: \_\_\_\_\_

## 問題 06-40

► 動詞「思える」を活用させなさい。

- 語幹: \_\_\_\_\_
- 未然形: \_\_\_\_\_ ない / \_\_\_\_\_ う
- 連用形: \_\_\_\_\_ ます
- 終止形: \_\_\_\_\_
- 連体形: \_\_\_\_\_ とき
- 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
- 命令形: \_\_\_\_\_

## 問題 06-41

► 形容詞「近い」を活用させなさい。

- 語幹: \_\_\_\_\_
- 未然形: \_\_\_\_\_ う
- 連用形: \_\_\_\_\_ た / \_\_\_\_\_ なる
- 終止形: \_\_\_\_\_
- 連体形: \_\_\_\_\_ とき
- 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
- 命令形: -(形容詞に命令形はなし)

## 問題 06-42

► 形容詞「若い」を活用させなさい。

- 語幹: \_\_\_\_\_
- 未然形: \_\_\_\_\_ う
- 連用形: \_\_\_\_\_ た / \_\_\_\_\_ なる
- 終止形: \_\_\_\_\_
- 連体形: \_\_\_\_\_ とき
- 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
- 命令形: -(形容詞に命令形はなし)

## 問題 06-43

► 形容詞「高い」を活用させなさい。

- 語幹: \_\_\_\_\_
- 未然形: \_\_\_\_\_ う
- 連用形: \_\_\_\_\_ た / \_\_\_\_\_ なる
- 終止形: \_\_\_\_\_
- 連体形: \_\_\_\_\_ とき
- 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
- 命令形: -(形容詞に命令形はなし)

## 問題 06-44

- ▶ 形容詞「難しい」を活用させなさい。
  - ▶ 語幹: \_\_\_\_\_
  - ▶ 未然形: \_\_\_\_\_ う
  - ▶ 連用形: \_\_\_\_\_ た / \_\_\_\_\_ なる
  - ▶ 終止形: \_\_\_\_\_
  - ▶ 連体形: \_\_\_\_\_ とき
  - ▶ 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
  - ▶ 命令形: -(形容詞に命令形はなし)

## 問題 06-45

- ▶ 形容動詞「自由だ」を活用させなさい。
  - ▶ 語幹: \_\_\_\_\_
  - ▶ 未然形: \_\_\_\_\_ う
  - ▶ 連用形: \_\_\_\_\_ た / \_\_\_\_\_ ない / \_\_\_\_\_ なる
  - ▶ 終止形: \_\_\_\_\_
  - ▶ 連体形: \_\_\_\_\_ とき
  - ▶ 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
  - ▶ 命令形: -(形容動詞に命令形はなし)

## 問題 06-46

- ▶ 形容動詞「巧妙だ」を活用させなさい。
  - ▶ 語幹: \_\_\_\_\_
  - ▶ 未然形: \_\_\_\_\_ う
  - ▶ 連用形: \_\_\_\_\_ た / \_\_\_\_\_ ない / \_\_\_\_\_ なる
  - ▶ 終止形: \_\_\_\_\_
  - ▶ 連体形: \_\_\_\_\_ とき
  - ▶ 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
  - ▶ 命令形: -(形容動詞に命令形はなし)

## 問題 06-47

- ▶ 形容動詞「壯絶だ」を活用させなさい。
  - ▶ 語幹: \_\_\_\_\_
  - ▶ 未然形: \_\_\_\_\_ う
  - ▶ 連用形: \_\_\_\_\_ た / \_\_\_\_\_ ない / \_\_\_\_\_ なる
  - ▶ 終止形: \_\_\_\_\_
  - ▶ 連体形: \_\_\_\_\_ とき
  - ▶ 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
  - ▶ 命令形: -(形容動詞に命令形はなし)

## 問題 06-48

- ▶ 形容動詞「画期的だ」を活用させなさい。
  - ▶ 語幹: \_\_\_\_\_
  - ▶ 未然形: \_\_\_\_\_ う
  - ▶ 連用形: \_\_\_\_\_ た / \_\_\_\_\_ ない / \_\_\_\_\_ なる
  - ▶ 終止形: \_\_\_\_\_
  - ▶ 連体形: \_\_\_\_\_ とき
  - ▶ 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
  - ▶ 命令形: -(形容動詞に命令形はなし)